



# 谷口博文の政策イノベーション

Date : 2019年 8月16日

## No.029 ウーバーとリフトの乗り比べ ニューヨークのライドシェア事情



2019/08/13 21:42

Honda CR-V T762191C

\$48.16

+\$8.42 のチップ

● 47 Conselyea St, Brooklyn, NY 11211 アメリカ合衆国  
■ Terminal 1, 500 Terminal Dr, Jamaica, NY 11430...



Mamadou さんを評価し…

★★★★★

### Pool 領収書

開始料金	\$0.00
時間	\$22.20
距離	\$21.04
小計	\$43.24
州の売上税	\$3.84
NY Black Car Fund (NY ハイヤー基金)	\$1.08
チップ	\$8.21
合計	\$56.37

(個人情報ですが…)

今や海外個人旅行には欠かせないライドシェアアプリ。日本には存在しないので、ニューヨークで最新事情を体験してきました。

ウーバーとリフトのサービス内容は基本的に同じです。つまり、車を呼ぶと数分以内に来る、到着予定時間がわかる、料金が事前にわかる、呼んだ車の接近がスマホ上で見える、現在地と行き先が示され外国語をしゃべる必要がない、走行経路が地図上にリアルタイムで示される、降りるときに料金を支払う必要がない(カード自動決済)、というものです。ウーバーは日本語で操作できますが、リフトは英語でした。ドライバーに聞くと、リフトの方が少し安く、安さを求めるユーザーはリフトに多い、ドライバーへの実入りはリフトの方が少しいい、とのことでした。これは多くのドライバーが両方やっているからわかることです。

私が初めてウーバーを使ったのは2016年サンフランシスコでしたが、その頃から比べるとだいぶ変化しています。

当時はチップを渡さなくていいのがありがたいと思ったのですが、今はレストランと同じように、レイティングに応じてチップを乗せるのが普通になってました。また領収書を見ると、州税やハイヤー基金への支払いが加算されていて、以前の割安感がなくなっています。

一方苦情処理的なフィードバック項目が増えていて、その意味でのサービス向上が見えます。タクシー業界との競争だけでなく同業者間の競争もあって、それが価格やサービスに反映しているとも言えます。ハイヤー基金なるものもうまい政治的解決といえるのではないでしょうか。



## No.030 ウーバーとリフトの乗り比べ ニューヨークのライドシェア事情

日本は政治紛争を怖れてウーバーのビジネスモデルを法律上禁止のままにしました。しかし世界では中国のディディやマレーシア(シンガポール)のグラブなど、米国に対抗できるビジネスに成長しています。

利用者からみれば、タクシーも含め健全な競争によってサービス水準を高めてほしい。新ビジネスをストップすることで国民のためになっているのか、私は疑問です。